

議員提出議案第25号

「子どもの権利条約」に基づいた子どもの権利保障に関する意見書

上記の議案を提出する。

平成16年12月21日

提出者

18番 砂川 なおみ

7番 梶 雅子

15番 山本 ひとみ

19番 川名 ゆうじ

武蔵野市議会議長 田中節男 殿

## 「子どもの権利条約」に基づいた子どもの権利保障に関する意見書

近年、子どもに対する虐待や体罰の増加、さらには児童買春や児童ポルノなど性的搾取の問題等、子どもの権利侵害はますます深刻化しています。今こそ、「子どもの権利条約」の精神に基づき、幅広く子どもの権利を保障する取り組みが求められます。

日本が、国連の「子どもの権利条約」を批准・発効してから10年が経過しました。自治体には、子どもの権利に関する総合的な条例を制定しているところもありますが、まだまだ日本全国に条約の精神が行き渡っているとは言いがたい状況です。今後、国及び地方自治体では、その普及・啓発に向けた取り組みを強める必要があると考えます。

国連・子どもの権利委員会から日本政府に対して出された勧告では、子どもオンブズパーソン制度の促進や、政策立案・決定過程への子ども参加の仕組みづくりが具体的な課題として提起されています。

よって、武蔵野市議会は、貴職に対して、国及び地方自治体において「子どもの権利条約」の趣旨を最大限尊重し、子どもの権利保障を求める仕組みづくりに取り組むよう求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成16年12月 日

武蔵野市議会議長 田 中 節 男

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
文部科学大臣  
厚生労働大臣  
内閣官房長官  
国家公安委員会  
委員長

—あて